

JIS

歯科用回転器具—
ダイヤモンド研削器具—第1部：ポイント—
寸法，要求事項，表示及び包装

JIS T 5505-1 : 2001

(JDMA)

平成13年5月25日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法第12条第1項の規定に基づき、日本歯科材料工業協同組合(JDMA)から工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、厚生労働大臣が制定した日本工業規格である。これによって、JIS T 5505 : 1993は廃止され、この規格に置き換えられる。

制定に当たっては、国際規格に整合した日本工業規格を作成するため、ISO 7711-1 : 1997, Dental rotary instruments—Diamond instruments—Part 1 : Dimensions, requirements, marking and packagingを基礎として用いた。

JIS T 5505-1には、次に示す附属書がある。

附属書(参考) JISと対応する国際規格との対比表

JIS T 5505の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS T 5505-1 歯科用回転器具—ダイヤモンド研削器具—第1部：ポイント寸法，要求事項，表示及び包装

JIS T 5505-2 歯科用回転器具—ダイヤモンド研削器具—第2部：ディスク

JIS T 5505-3 歯科用回転器具—ダイヤモンド研削器具—第3部：粒度，呼び及びカラーコード

医療安全用具部会 歯科材料専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	長谷川 二郎	愛知学院大学歯学部
	浅井 康宏	東京歯科大学
	庵原 靖之	社団法人日本歯科医師会
	飯塚 恵文	株式会社日本橋徳力松戸事業所技術部
	井堂 孝純	社団法人日本歯科医師会
	梅田 昭夫	社団法人日本歯科医師会
	小倉 英夫	日本歯科大学新潟歯学部
	小田 豊	東京歯科大学
	梶山 進	社団法人日本歯科医師会
	勝木 紘一	日本歯科材料器械研究協議会
	加藤 勇	社団法人日本歯科医師会
	河合 正勝	株式会社松風研究開発部研究企画室
	窪田 隆夫	日本歯科材料工業協同組合
	倉田 幸男	社団法人日本歯科医師会
	佐々木 弥生	厚生省医薬安全局
	田中文夫	昭和薬品化工株式会社
	中 篤裕	明海大学
	西川 泰藏	工業技術院標準部標準業務課環境生活標準化推進室
	野原 建	石福金属興業株式会社研究部研究課
	三宅 公雄	社団法人日本歯科医師会
	桃井 保子	鶴見大学
	渡辺 一弘	株式会社ジーシー
(事務局)	宗 像 保 男	工業技術院標準部標準業務課

主務大臣：厚生労働大臣 制定：平成 13. 5. 25

官報公示：平成 13. 6. 1

原案作成者：日本歯科材料工業協同組合（〒111-0056 東京都台東区小島 2 丁目16-14 日本歯科器械会館2階
TEL 03-3851-7217）

審議部会：日本工業標準調査会 医療安全用具部会（部会長 長谷川 二郎）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は厚生労働省医薬局審査管理課 [〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1 丁目2-2 TEL 03-5253-1111(代表)]、経済産業省 産業技術環境局標準課 環境生活標準化推進室 [〒100-8921 東京都千代田区霞が関 1 丁目3-1 TEL 03-3501-1511(代表)] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

歯科用回転器具—
ダイヤモンド研削器具—
第1部：ポイント—寸法，
要求事項，表示及び包装

T 5505-1 : 2001

Dental rotary instruments—Diamond instruments—
Part 1 : Points—Dimensions, requirements, marking and packaging

序文 この規格は、1997年に第1版として発行されたISO 7711-1, Dental rotary instruments—Diamond instruments—Part 1 : Dimensions, requirements, marking and packagingを元に、対応する部分について原国際規格を翻訳し、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、原国際規格にない事項である。

1. 適用範囲 この規格は、歯科用回転器具の一種であるダイヤモンド研削器具(以下、研削器具という。)において、通常最も多く使用される14種の形状の寸法及びその他の性質について規定する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、ISO/IEC Guide 21に基づき、IDT(一致している)、MOD(修正している)、NEQ(同等でない)とする。

ISO 7711-1 : 1997 Dental rotary instruments—Diamond instruments—Part 1 : Dimensions, requirements, marking and packaging(MOD)

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

JIS K 0557 用水・排水の試験に用いる水

JIS T 5501 歯科用回転器具—番号表示法

JIS T 5502 歯科用回転器具—試験方法

備考 ISO/DIS 8325 : 1997, Dental rotary instruments—Test methodsからの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS T 5503 歯科用回転器具—寸法及び呼び

備考 ISO 2157 : 1992, Dental rotary instruments—Nominal diameters and designation code numberが、この規格と一致している。

JIS T 5504-1 歯科用回転器具—軸—第1部：金属製

備考 ISO 1797-1 : 1992, Dental rotary instruments—Shanks part 1 : Shanks made of metalsからの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS T 5505-3 歯科用回転器具—ダイヤモンド研削器具—第3部：粒度、呼び及びカラーコード

備考 ISO 7711-3 : 1992, Dental rotary instruments—Diamond instruments—Part 3 : Grit sizes, designation and colour codeが、この規格と一致している。